



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）
〒680-0846

鳥取市扇町21 県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）内

電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593

発行者 岡崎 周治

2020年度 市町村人権教育担当者会

鳥取県人権教育推進協議会主催による市町村人権教育担当者会を、3月11日にオンラインで開催しました。今年度の「活動状況調査のまとめ」によると、コロナ禍の影響で各市町村の活動状況は例年に比べて大幅に制限され、総会は書面による表決、研究集会・大会は中止や縮小となった市町村が大多数でした。しかし本県の特徴的な取り組みである小地域懇談会は、感染防止対策を取り、方法を工夫しながら取り組まれ、6割以上の市町村で開催されていました。大まかに集約すると県内約400か所で約6,000人の参加者がありました。例年に比べれば大幅に減少していますが、全国で唯一、全県で取り組まれている草の根の住民啓発の意義をこれからも継承していきましょう。

実践報告では智頭町同和教育推進協議会の人権教育推進員、天野信昭さんに智頭町の実践報告をしていただきました。長い歴史を持つ智頭町同和教育推進協議会が積み上げてこられた成果をもとに、公民館・婦人会・老人クラブ・PTA・商工会・等々、さまざまな組織や団体が自主的に取り組まれている活動の様子や、町職員・町議会議員・職場・学校等の取組の様子が報告されました。

2020年度「差別事件報告・人権確立をめざす県民集会」

（主催：部落解放同盟鳥取県連合会、後援：鳥取県人権教育推進協議会、部落解放鳥取県共闘会議）
3月7日（日）「まなびタウンとうはく」を会場に行われました。

集会では、2020年度に発生した5件の差別事件が報告され、それぞれの事件の経過や事件のもつ差別性と問題点が明らかにされました。学校現場での生徒による差別発言事件は、新型コロナウイルス感染者に対する差別発言であり、その背景には学校全体で新型コロナ差別問題と部落差別問題の理解ができていない状況が伺え、あらためて、部落問題、人権の捉えをしていく学習や、具体的な差別の現実から学ぶ、小学校・中学校からの系統的な教育の必要性が求められる事例でした。

また、被差別部落がどこにあるのかという問い合わせが相変わらず頻発している実態も明らかになりました。転居や結婚に際して、「どこが被差別部落か」「相手の住所が被差別部落か」を調べることは明らかな部落差別ですが、問い合わせしている本人は、虚偽発言をして自分の差別性を隠そうとしたり、問い合わせが差別行為であることに気づいていなかったりしています。一般社会や家庭に対する教育と理解を一層進めていくことが求められます。さらに、今回の事件では問い合わせへの対応の仕方や、関係する組織や団体への報告のあり方についても改善の余地があることが指摘されました。

講演では、「反差別・人権研究所みえ」の松村元樹さんによる「ネット上に表出する差別とオンラインを活用した差別解消の可能性」と題するお話で学習を積み上げました。

大会案内(全国人権教育研究協議会関係)

※下記の各大会の開催については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期または中止等の場合がありますので、開催情報にご留意ください。

<全人教主催>

- ◇第72回全国人権・同和教育研究大会 11月13日(土)～11月14日(日) 新潟県上越市
- ◇教育課題別研究会「創る つながる 切り拓く」 7月27日(火) 京都府京田辺市
- ◇「豊かな人権教育の創造」実践交流会 11月27日(土) 神戸市

<全人教後援>

- ・部落解放第66回全国女性集会 中止
- ・第46回部落解放・人権西日本夏期講座 6月17日(木)～18日(金) 福山市
- ・第68回四国地区人権教育研究大会 7月8日(木)～9日(金) 松山市
- ・部落解放第53回東日本研究集会 未定
- ・第48回九州地区人権・同和教育夏期講座 8月17日(火)～18日(水) 鹿児島
- ・部落解放第65回全国青年集会 8月下旬 徳島市
- ・部落解放第53回全国高校生集会 8月下旬 徳島市
- ・第38回阪奈地区人権・同和教育研究大会 9月3日(金) 大阪府
- ・第13回中国ブロック人権・同和教育研究集会 10月 鳥取県
- ・部落解放研究第55回全国集会 11月 北九州市
- ・第36回人権啓発研究集会 2022年2月3日(木)～4日(金) 和歌山市
- ・第43回全国人権保育研究集会 9月4日(土)～5日(日) 奈良市

◎第46回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会◎

～人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう～

期日 2021年 8月3日(火)

全体会場 米子コンベンションセンター 多目的ホール

分科会場 米子コンベンションセンター、米子市文化ホール

※参加者の人数制限等、感染対策を十分にとって開催予定

人権問題学習その実践 No29

第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

『特別講座』

「新型コロナウイルス感染症問題の偏見や差別から学ぶ」

講演1 中原眞理子さん(日本赤十字社 鳥取県支部)

講演2 内田博文さん(九州大学名誉教授)

講演3 松村元樹さん(公財反差別・人権研究所みえ)

実践の深まりをめざして

○北栄町立北条中学校の実践

～生徒会活動の真ん中に「じんけん」を～

編集後記

コロナ禍での1年が過ぎ、新しい年度が始まろうとしています。一刻も早くコロナが収束し、安心して外に出られる日が来ることを願うばかりです。そして、「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流する」鳥取県研究集会が予定通り開催できることを祈りたいと思います。今年の8月3日(火)に、米子コンベンションセンターでお会いしましょう!